

## <アイデア2>

小学校第5学年

### 「ストーリーに合った音楽をつくろう」

これまでに学んだ音符の種類を組み合わせたリズムパターンにより、  
**全ての音楽の学習の支えとなる資質・能力である【共通事項】を要と**  
**して**、「A表現（3）**音楽づくり**」に取り組む題材。

★本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる  
主な音楽を形づくっている要素  
**リズム・旋律**

音楽科…

資質・能力の螺旋的な

す教科

小学校音楽科  
中学校音楽科 共通  
高等学校芸術科（音楽）

音楽科の授業において、  
「身に付けた資質・能力を活用・発揮  
する」とは  
具体的にどういうことなのか、  
最初に説明します。

高

中

小

# 音楽科（芸術科音楽）という教科・科目について

## ●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

小学校及び中学校の「音楽科」，高等学校の「芸術科音楽」において，

「児童や生徒が身に付けた資質・能力を活用・発揮する」

ということが，具体的にどういうことなのかについて，小学校，中学校，高等学校に共通した音楽科という教科・科目の特質を踏まえた上でまずは説明します。

音楽の授業を構想したり実践したりする上で，どうしても理解しておいてほしいことですので，どの校種の先生もぜひご覧ください。

# 音楽科（芸術科音楽）という教科・科目について

## ●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは…

小学校から高等学校まで，教科・科目名の変わらない「音楽」ですが，そこでやる内容も

「歌唱」

「器楽」

「創作（音楽づくり）」

「鑑賞」

の4つの分野で変わりません。

器楽



鑑賞



歌唱



創作



# 音楽科（芸術科音楽）という教科・科目について

## ●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

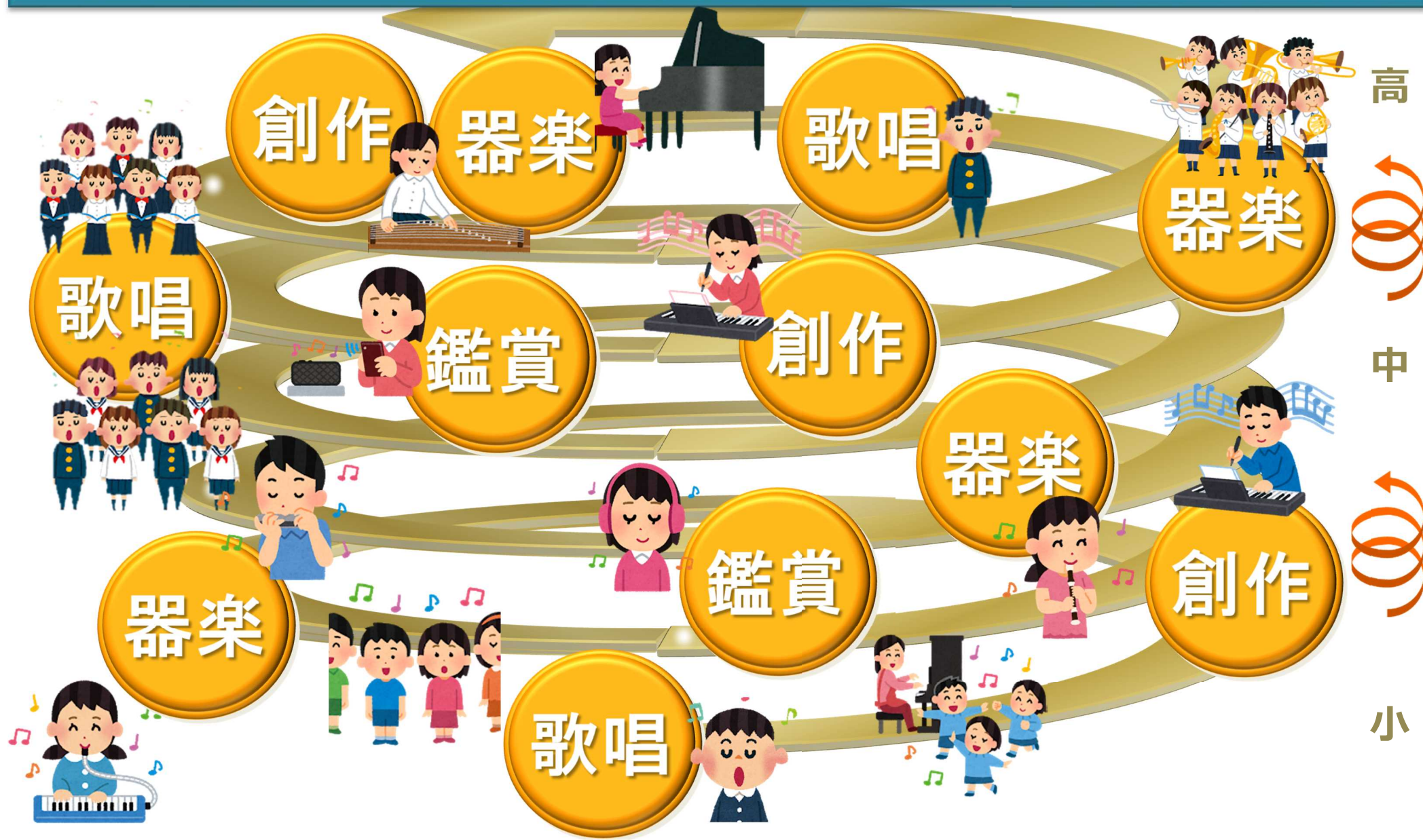
「歌唱」「器楽」「創作（音楽づくり）」「鑑賞」

上記4つの幅広い音楽活動を通して、生活や社会の中の（多様な）音や音楽、音楽文化と幅広く（豊かに・深く）関わる資質・能力を、発達段階に応じて螺旋的に質を高めていくことを目指す教科が「音楽」です。

音楽では「単元」でなく「題材」を用いますが、その理由や意味もここにあります。

# 音楽科…

## 資質・能力の螺旋的な質の高まりを目指す教科



## 音楽科（芸術科音楽）という教科・科目について

### ●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

このことによって、最終的に目指すのは、

生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む

ことであり、

音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

ことです。





生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力

…生涯にわたり音楽を愛好する心情

音楽科…

資質・能力の螺旋的な質の高まりを目指す教科



## 音楽科（芸術科音楽）という教科・科目について

### ●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

資質・能力の質を螺旋的に高める際、

表現及び鑑賞の全てに共通して必要となる、  
言い換えれば

全ての音楽の学習の支えとなる資質・能力が

〔共通事項〕

です。



# 音楽科...

## 資質・能力の螺旋的な 質の高まりを目指す教科

生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力

### ...生涯にわたり音楽を愛好する心情



高



中



小

# [共通事項]ア, イ

表現及び鑑賞に共通して必要となる  
(全ての学習の支えとなる) 資質・能力

## 器楽

## 鑑賞

## 創作

## 歌唱



## 〔共通事項〕

表現及び鑑賞に共通して必要となる（全ての学習の支えとなる）資質・能力

(1) 「A表現（歌唱、器楽、創作・音楽づくり）」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

**ア** 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を  
知覚し（聴き取り）、それらの働きが生み出す特質や  
雰囲気（よさや面白さ、美しさ）を感受し（感じ取り）  
ながら、知覚した（聴き取った）ことと感受した（感じ  
取った）こととの関わりについて考えること。

**イ** 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語  
や記号など（音符や休符）について、音楽における働  
きと関わらせて理解すること。

# 音楽科(芸術科音楽)という教科・科目について

## ●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

表現及び鑑賞の全てに共通して必要となる、(全ての音楽の学習の支えとなる資質・能力)である〔共通事項〕ですが、

「思考力, 判断力, 表現力等」に関する資質・能力のアと,  
「知識」に関する資質・能力のイがあります。

特にアが重要で, 聴き取ったことと感じ取ったことを関わらせていくことによって, 知識や技能が更新されていきます。

音や音楽との出会いの段階でこの資質・能力を活用・発揮させることが大切です。また, 習得した「実感しながら理解する知識」や「創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能」を生きて働くものとして身に付けることが〔共通事項〕のねらいでもあります。



### ●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは・・・

〔共通事項〕にある「音楽を形づくっている要素」ですが、上記が主なものです。これらの中から、その題材の中で扱う「本題材の学習において、児童生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素」を絞り込むことが重要です。1題材で1～3つ程度に絞り込んで題材構成等を構想していきます。

## 音楽科…

す教科

## ●音楽科における資質・能力の活用・発揮とは…

以上のように「音楽」は「身に付けた資質・能力を活用・発揮する」ことの繰り返しを大前提とした教科・科目です。

〔共通事項〕を支えとした授業をすることで、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育んでください。

中学校・高等学校の音楽科教員はこのことを常に意識し、小・中・高の系統性を踏まえた授業づくりや授業改善をしていく必要があります。

小学校の教員は、その題材で身に付けさせたい資質・能力が何であることを学習指導要領で確認した上で、まずは「楽しい音楽活動」を実践し、それを〔共通事項〕を支えとしながら「音楽の学習」へと誘ってあげてください。

高



中



小

## <アイデア2>

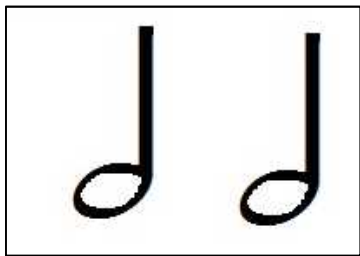
小学校第5学年「ストーリーに合った音楽をつくろう」

これまでに学んだ音符の種類を組み合わせたリズムパターンにより、  
【共通事項】…**全ての音楽の学習の支えとなる資質・能力…を要**として、  
「A表現（3）**音楽づくり**」に取り組む題材。

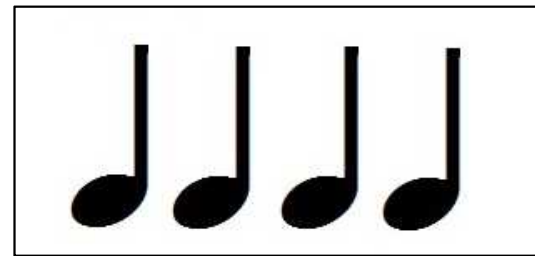
★本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形  
づくっている要素…**リズム・旋律**

低学年，中学年で学んだ数種類の音符や休符の知識と，それらを実際に聴き取ったり感じ取ったりしたこと，思いや意図をもって表現する思考力・表現力・判断力等や技能を活用・発揮しながら，自分でつくったストーリーに合わせてリズムパターンを選択して組み合わせ，それをテンポや強弱について変化させて音で試しながら試行錯誤することで，思いや意図をもって表現することについて深く学ぶとともに，音楽を愛好する心情を育成するためのアイデア。さらに，自分がつくったリズムパターンの組合せにこれまで学んだ音階や調の知識を活用・発揮しながら音程や強弱の要素を加え，最終的には旋律（メロディー）で思いや意図を表現することについて学ぶ。

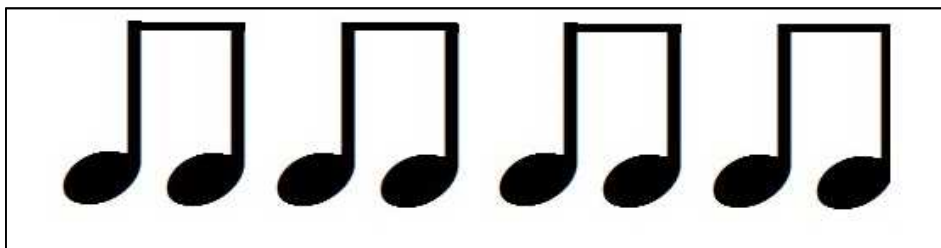




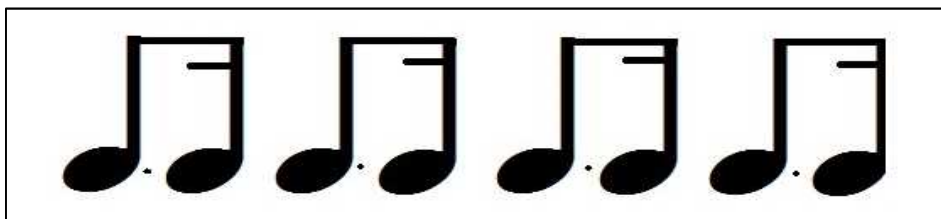
①ひるね



②行進



③かけあし



④スキップ



⑤ゆらゆら

2 児童の感じ取ったことを尊重しつつ、ここでは①は昼寝、②は行進、③はかけ足、④はスキップ、⑤はゆらゆらということにしておきます。リズムパターンを児童が理解したら、ストーリーの主人公を決め、主人公のイメージを書き出します。ストーリーを1小節ずつ書きます。それに見合うリズムパターンを選びます。

1 ここに5種類のリズムパターンがあります。小学校4年生までで学んでいる、四分音符、二分音符、八分音符、そして付点のある付点四分音符と付点八分音符という、5種類の音符を組み合わせた、とてもシンプルなものです。これらの組み合わせを、児童と一緒に手拍子で演奏しながら、どんなイメージかを感じ取らせます。この段階で既に、**〔共通事項〕ア**の聴き取ることと感じ取ることに関わらせることができますし、**〔共通事項〕イ**の音楽における働きと関わらせて音楽を形づくっている要素や用語、記号を理解させることもできます。

# リズムパターンを演奏し、それぞれのイメージをもつ

<〔共通事項〕ア…聴き取ったことと感じ

↓  
取ったことを関わらせて捉える>

<〔共通事項〕イ…音楽を形づくっている要素等を音楽における働きと関わらせて理解>

## ストーリーに合わせリズムパターンを選択する

### 思いや意図に合ったリズムの探求

↓ <音による試行錯誤の繰り返し>

<知識及び技能の活用・発揮→更新>

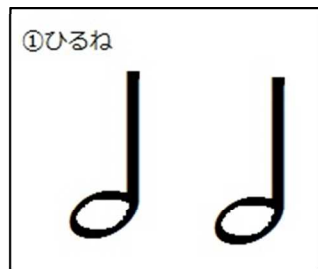
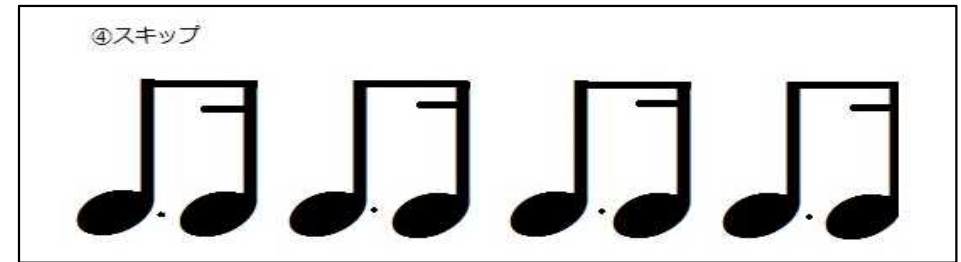
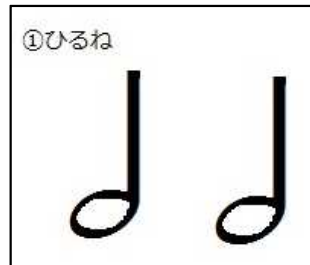
それぞれが4分の4拍子、1小節分の長さになっているので、4小節分を自分でつくったストーリーに合わせて選択します。これで立派な音楽づくりとなります。

音楽づくりで重要なのは、このように**ある程度の条件を決めて、縛りをかけてやる**ことです。縛りがなく、自由にやれという方が、児童はどうしてよいか分からず困ってしまいます。

もちろん、パターンから選択するのではなく、自由に拍子に当てはめることができる児童は、自由につくらせてもかまいません。

## たんぽぽが

(1)ゆれてたら (2)寝ちゃって (3)スキップした (4)夢を見た



例えば、このようなストーリーに見合うリズムを選ぶと、上記のようなリズムパターンの繰返しによる曲ができあがります。

リズムパターンを演奏し、それぞれのイメージをもつ

<〔共通事項〕ア…聴き取ったことと感じ取ったことを関わらせて捉える>



<〔共通事項〕イ…音楽を形づくっている要素等を音楽における働きと関わらせて理解>

ストーリーに合わせてリズムパターンを選択する

思いや意図に合ったリズムの探求



<音による試行錯誤の繰り返し>

<知識及び技能の活用・発揮→更新>

**完成した作品を発表し、音楽表現を楽しむ**

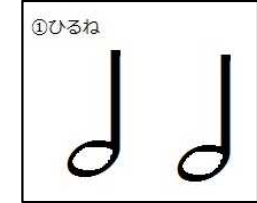
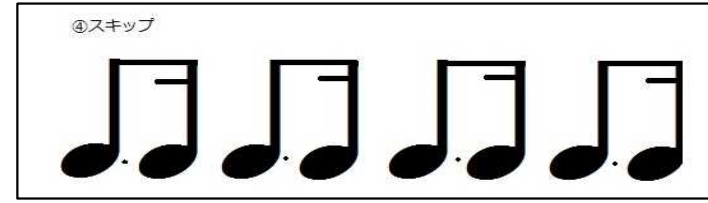
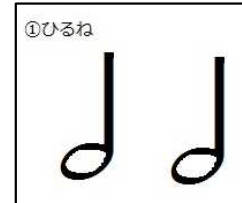
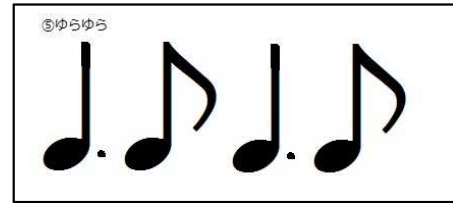
<ストーリーと合っているかの視点で聴き合



う（根拠も）>

**音楽を愛好する心情の育成**

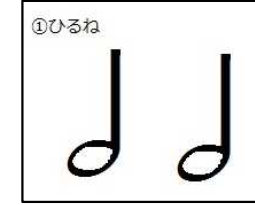
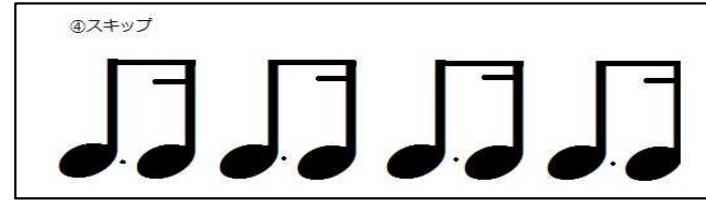
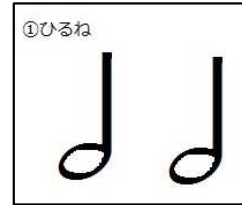
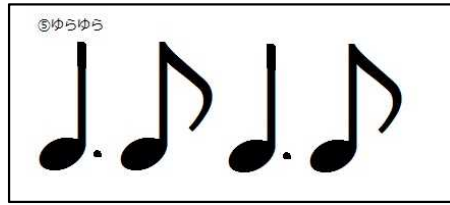
音で試し試行錯誤してできあがった作品を**実際に演奏**し、グループや全員で聴き合うことで、自身が身に付けている資質・能力を更新させていくこともできます。



さらに、先ほどイメージした主人公の特徴を**音程や強弱で表現**すると**メロディー**ができあがります。

例の曲はタンポポの曲なので、イメージとしては黄色い・かわいい・小さい等のイメージから、使用する音程は高めの音程、強弱はmpくらいが好ましいことになります。

もしゆれているものが「おばけ」だったとすれば、怖い・大きい等のイメージから、使用する音程は低めの音程、強弱はpで音楽づくりをすると、怖さが演出できます。



ここにあげた要素は、欲張る必要はなく、めあてをたてる段階で絞ってもかまいません。リズムに音をつける場合は、**最初の音と最後の音は必ずドと指定**すると、それ以外の音に何の音を使っても比較的それらしい曲ができます。鍵盤ハーモニカ、リコーダーを駆使して試行錯誤させるのもよいでしょう。あるいは、**タブレットに鍵盤で音を出せるソフト**を入れておけば、**それで音を出しながら試行錯誤**するという、**ICTの活用**も十分に考えられます。

**リズムパターンを演奏し，それぞれのイメージをもつ**

↓ **＜〔共通事項〕ア＞ ＜〔共通事項〕イ＞**  
**ストーリーに合わせリズムパターンを選択する**

↓ **思いや意図に合ったリズムの探求**

↓ **＜音による試行錯誤の繰り返し＞＜知識及び技能の活用・発揮→更新＞**  
**完成した作品を発表する**

↓ **＜ストーリーと合っているかの視点で聴き合う（根拠も）＞**  
**音程や強弱を考え，旋律をつくる**

↓ **音による試行錯誤**

↓ **＜強弱，組合せ，重ね方の試行錯誤＞**  
**音楽を愛好する心情の育成**

音で試しながら試行錯誤することで，思いや意図をもって表現することについて深く学ぶことができ，このことで音楽づくりの知識及び技能を繰り返し活用・発揮しながら，創意工夫を生かした音楽表現を楽しむことができ，音楽を愛好する心情を養うことにつながると考えられます。

## アイデアを体験した先生の感想

感じ取ったことを話し合うことは多くても、その根拠となる音楽を形づくっている要素に気付かせなければ、学びにならないと思った。

音楽づくりでは、子どもの発想の豊かさに触れながらも、〔共通事項〕をしっかりと取り上げた授業ができるよう授業を組み立てたい。

授業づくりでは、聴き取ったことと感じ取ったこととを関わらせた授業をするように心掛けたい。

知覚と感受を整理することで、子どもがより音楽を楽しむことができるのではと思った。

音楽づくりの中で子どもが知覚と感受を往還させながら一つのストーリーのある音のまとまりを作れるような姿を目指すことが大切になると思った。

「どうして？」と問い掛けてあげることで、知覚と感受を関わらせることができることを知り、今後活用していきたいと思った。

リズムパターンに名前を付けて音楽づくりをするのは、私自身がわくわくしてやってみたくなったので、授業に取り入れていきたい。